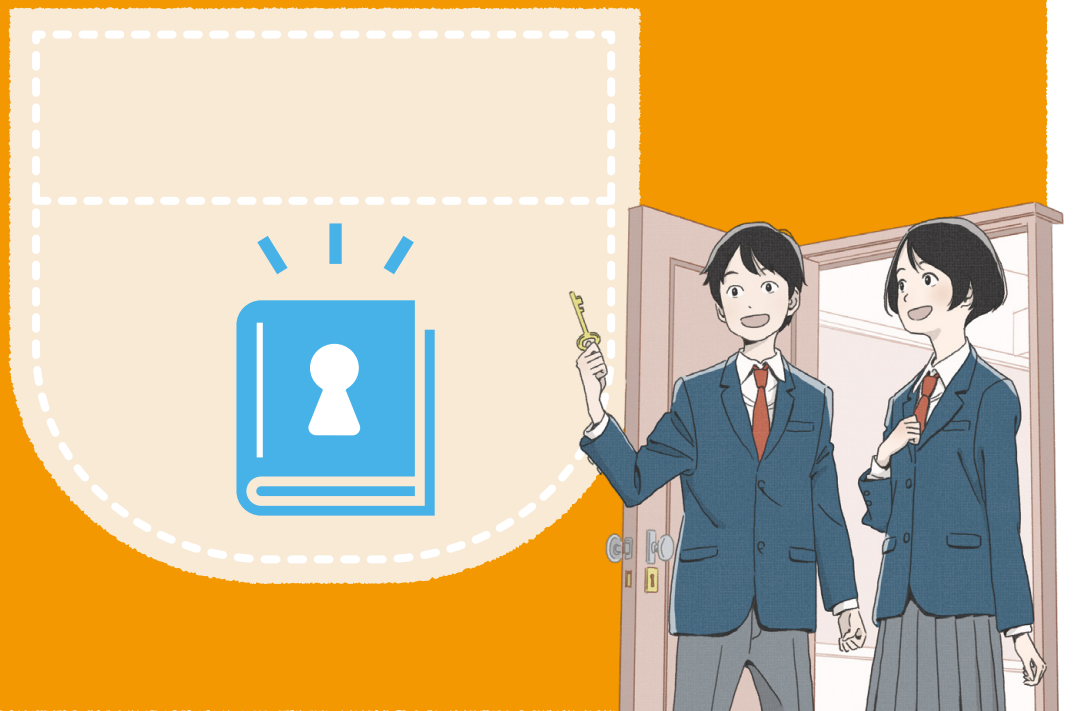


光村ポケット

中学校 国語

教科書のここに着目！
自ら学ぶ力を育む
「学びへの扉」



光村図書



LINE公式アカウント友だち募集中！
授業づくりに役立つ情報を、
いち早くお届けします。



教授用資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

教科書の
ここに着目！

自ら学ぶ
力を育む

「学びへの扉」

生徒一人一人が主体的に学び、課題を解決する力を身につけていくためには？ 教科書の「学びへの扉」では、生徒自身が学習を調整しながら進められるように、学習の流れを工夫して示しています。



学びのカギ（学習のポイント）

179 価値を語る ● 君は「最後の晩餐」を知っているか／「最後の晩餐」の新しさ

179 ページ
文章の比較

129 ページ
論理の展開の吟味

51 ページ
文章と図表

「文章を比較することの効果」
● 題材や内容への理解が深まる。
● その文章の特徴が明らかに。
● それぞれの筆者の対象への見方や述べ方の違いが浮かび上がる。
「比較するときの留意点」
● 同じ観点で比較する。
● 比較して気づいたことを伝えたり、検討したりするときには、どの観点で比較したかを明確にする。
「学習で用いる言葉」
比較 二つ以上のものを照らし合わせ、一定の観点から共通点・相違点を見いだしたり、比べたりすること。

学びのカギ
観点を明確にして文章を比較する

【二つの文章を比較する】

表に整理すると、観点ごとに比較しやすい。

観点	君は「最後の晩餐」を知っているか	「最後の晩餐」の新しさ
① 内容		
作品への評価	・ カッコいい	・ 新しい
指摘された「新しさ」	・ 解剖学 ・ 遠近法……	・ 構図
文章の種類	・ 評論	・ 解説
② 形式		
説明のしかた	・ 評価→分析	・ 他の作品との比較

「二つの文章を比較する」の内容を観点にして比較する。
「最後の晩餐」を、それぞれどんな言葉で評しているか。
「最後の晩餐」を、それぞれどんな言葉で指摘しているか。

評価するとき使える言葉を探し、書く。



学びへの扉（学習の流れ）

学びへの扉

文章の比較を通して気づいたことや考えたことを話し合おう。[学習活動]

見通しをもつ
目標

- 表などを用いて、情報を整理する。(知る)
- 観点を明確にして文章を比較し、文章の構成や表現の効果について考える。(読む)

捉える

1 二つの文章を比べながら読み、内容を捉えよう。

- ① 次の観点で本文に印を付けながら、二つの文章を通読しよう。
・ 筆者の着眼点 ・ 筆者が端的に「最後の晩餐」を評した言葉
- ② 「君は『最後の晩餐』を知っているか」の筆者は、なぜ「最後の晩餐」を「カッコいい」と思ったのか。本文中の言葉を使って説明しよう。
- ③ 「『最後の晩餐』の新しさ」で筆者が指摘する「新しさ」とは何か。本文で取り上げられている「新しさ」の要素を挙げてみよう。

読み深める

2 文章を比較し、気づいたことを話し合おう。

- 次の観点で二つの文章を比較し、気づいたことやその効果について考えたことを話し合おう。
- ・ 「最後の晩餐」の魅力を説明する方法（説明のしかた）。
 - ・ 文章の書き方や、表現の特徴。

表にして比較すると、二つの文章の違いが、はっきりと見えてくるね。

考えをもつ

3 筆者の意図や目的を考えよう。

筆者はそれぞれ、読者に何を伝えるためにこのような書き方を選んだのか。文章を書いた目的と書き方の特徴を結び付けて考えよう。

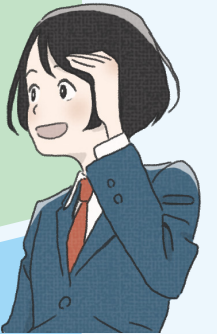
振り返る

- ▶ 知る □ 文章に含まれる情報を表で整理することには、どんな効果があるか。
- ▶ 読む □ 同じ題材について述べた二つの文章には、どんな違いがあったか。
- ▶ つなぐ □ 文章の比較を通して気づいたことの中で、次に論説や評論を読むときに生かせそうなことを挙げてみよう。

学習を調整する3ステップ

見通しをもつ

自律的に学習を進める最初の一步は、学習の見通しをもつこと。目標を明確にし、目標達成までの学習過程に見通しをもって学習を進めましょう。学習の初めに、これまでの学びを振り返るのも効果的です。→ POINT 1



試行錯誤する

過去の学びを生かす。学習の進め方を工夫する。幾つかの考え方を試してみる。……自分なりの試行錯誤の中でこそ、学びは広がり、深まっています。必要に応じて前の学習過程に立ち戻ったり、次の学習活動に応じて軌道修正したりしてもよいでしょう。

また、試行錯誤を力の習得へとつなげるためには、生徒自身が身につける力を意識しながら学習を進めることも重要です。→ POINT 2



振り返る

学びのゴールは、次の学びのスタートライン。教科書の「振り返る」では、「つなぐ」において、学んだことの価値を確かめるとともに、次の学びや普段の生活にどのように生かすかを考えます。



次の学びへ！



学びの地図



POINT 1 学びの地図で学びの現在地を確認する

「学びの地図」ではこれまでに学習した「学びのカギ」を学年を超えて一覧できます。これまでの学びを確認し、学びの現在地を把握することが、学習の見通しをもつ土台となります。

POINT 2 学びのカギで身につける力を確認する

「学びのカギ」は、「学びへの扉」の重点となる学習過程（黄色で示された過程）に取り組むときに、活用することができます。身につける力を確認したいときや、課題に取り組む手がかりが欲しいとき、必要に応じた活用を促してもよいでしょう。

主体的な学びを導く！

達人の教科書活用術

年度初めには、これまでに書いた文章などを見直し、日頃よく使う言葉、文末表現の癖や特徴を振り返ってみましょう。「自分の語彙」を自覚し、拡充しようと意識することが、国語科における主体的な学びにとって重要です。また、言葉の価値や言葉を豊かにする意義について一人一人が考えをもち、互いに交流する機会を作りましょう。



福井大学准教授
光村図書編集委員

萩中 奈穂美 先生

～主体的に言葉と向き合うために～

使用語彙を自覚し、学習の見通しをもとう

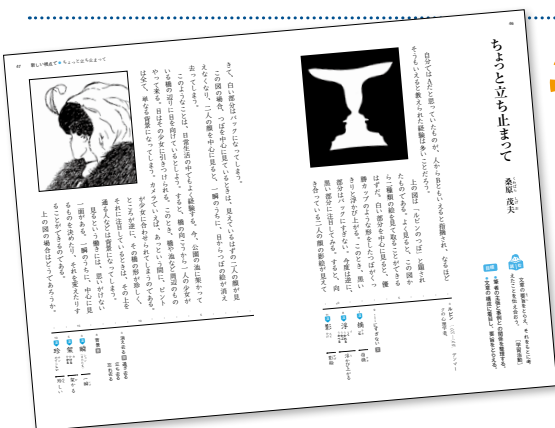


これから出会う言葉の世界を意識することが、「主体的に言葉と向き合う」学習の土台となります。頃合いを見計らって「語彙ブック」を参照し、習得したい言葉や使いたい言葉をチェックしてみましょう。そのとき学習中の単元と「語彙ブック」の観点（「情景」「感情」など）との関連を図ると効果的です。

1年 P267
2年 P267
3年 P247
語彙ブック

～主体的に問いをもちながら読むために～

「私ならこう書く」から始めてみよう



書き手の立場を体験することで、筆者に向き合って読む構えが生まれます。「ちょっと立ち止まって」の導入では、筆者の主張のみを押さえたうえで、生徒自身が三つの図を用いた本論を書いてみます。自分と筆者の述べ方の違いから、筆者の論述（例の挙げ方、論の展開など）への問いをもちやすくなります。

1年 P46
ちょっと立ち止まって



光村図書

教授用資料

発行日 2026年4月
発行者 吉田直樹
発行所 光村図書出版株式会社
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9
電話:03-3493-2111(代表)
イラスト みずす／田中真琴
デザイン 田中真琴

光村図書ウェブサイト

光村図書 | 検索

